

清 風

高岡市立高陵中学校
第3学年だより
第8号
令和7年12月1日

どうせやるなら

| 学年主任 田賀 美奈

私は3歳の頃からピアノを習い始めた。自分から習いたいと言ったのだと母からは聞いている。

ピアノが大好きで、毎日毎日弾いていたことを思い出す。大に手をかまれて、指がズキズキ痛む日さえ、ピアノの前に座り、練習をした。

私が初めてピアノを習った先生は、祖母の姉だった。祖母の姉は、昔、小学校の教員をしていたそうで、音楽大学等でピアノを勉強した訳ではないが、ピアノが弾けて、何人もの生徒を教えていた。そんな環境のもと、私は専門的なことこそあまり習えなかったが、自由にのびのびとピアノを楽しんでいた。

小学5年生になった頃、きちんとピアノ習うなら教室を変わった方がいいという話があがつた。新しい教室は、日本でトップクラスの私立音楽大学の附属教室だった。私のピアノの先生は、毎週末、東京から富山までピアノを教えに来ておられたし、音楽の様々な基礎力を伸ばすソルフェージュという授業の先生も、毎週大阪から来ておられた。レッスンはとても厳しく、泣きながらレッスン会場から生徒が出ていくのも普通の光景だったし、1時間半のレッスンで、曲の最初の4小節から全く先に進ませもらえないこともよくある話だった。

そんな教室が私は大嫌いだった。みんな苦しんだり、傷ついたりしているようにしか見えない。そもそも私は基礎が全くできていないと言われ、教室を変わったばかりの頃は両手でピアノを弾くことさえ許されなかった。指一本一本の使い方や手首の使い方を一から勉強し直さねばならず、小学2、3年生が、すらすらとショパンを弾く中、私は幼稚園の頃に弾いていた曲を片手ずつ練習しなければならなくて、本当に惨めだった。

前向きに練習をする気持ちには全くなれなかった。あまりに練習不足で、ズル休みをしたことも何度かあった。そんな状態だったので、発表会やテストなどの演奏もミスが多くなった。しかし、当時私を教えてくださった先生は、私を決して見捨てず、妥協されることもなかった。できていないところを一つ一つ指摘され、できるようになるまで根気強くレッスンをされた。

大学では、音楽について研究する音楽学を専攻したが、ピアノの授業もあった。大学に進学する際、ピアノ教室も卒業し、ピアノの先生も変わった訳だが、離れてみて、やっと私は厳しかった音楽教室での練習の意味を考えられるようになった。基礎がきちんと身に付いていれば、どんな曲もある程度高いレベルから練習を開始することができる。ピアノ科ではなかったが、他の楽器の人の伴奏をさせてもらったり、声楽科の人達が集まる合唱の授業の伴奏をさせてもらったりもした。大学を卒業してからも、幼稚園や小学校、地域の行事等で演奏する機会をたくさんいただいた。

そんな日々を送りながら、私は考えていた。あの厳しい音楽教室にいた頃、どうしてもっと前向きに練習をしなかったのだろう。嫌々教室に通うのではなく、積極的に練習できていたなら、もっとたくさんのこと学べていて、今よりもうまく演奏できていたに違いない。音楽とも深く関わる力が身に付いていただろう。

中学校生活は皆さんにとって楽しいことばかりではないだろう。苦手な教科もあるだろうし、自分が想像していたよりも高いレベルでやり遂げることを求められるときだってある。特に3年生は、今、受験に向けて大変な毎日を送っているだろう。そんな中で、どうせやらなくてはならないこと、今頑張らなければならない状況に直面していることがあるのであれば、嫌々やるよりも前向きな気持ちでやった方が楽しいし、得されることも多いはずだ。困難にぶつかっても、前向きに取り組むことができたら、その経験は将来、きっと皆さんを助けてくれるに違いない。

学校集金について

12月は学校集金の調整月となっておりますが、3年生は例月どおり12,030円を集めさせていただきますので、ご了承ください。尚、口座引き落とし日は、12月2日(火)です。よろしくお願いします。

12月予定表

1	月	短縮授業(～19日) 県内私立推薦入試 web 登録期間 (～12/19)
2	火	
3	水	実力テスト(社・国・理)
4	木	実力テスト(英・数) 薬物乱用防止教室
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	富山高専推薦選抜 web 出願受付期間(～1/6)
9	火	
10	水	実力テスト(社・国・理)
11	木	実力テスト(英・数)
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	県内私立推薦入試受験料支払期間(～12/22 16:00まで) 石川工専推薦選抜 web 出願受付期間(～1/7)
16	火	モップ交換日

17	水	
18	木	書初練習(5、6限)
19	金	給食最終日、愛校の日
20	土	
21	日	
22	月	保護者会(生徒は9:30下校)
23	火	保護者会(生徒は9:30下校)
24	水	授賞集会、終業式 県内私立推薦入試受験票印刷期間(～入試当日)
25	木	冬季休業(～1/7)
26	金	
27	土	閉学日(～1/4)
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

2025年を振り返って



僕は、今年1年間、テニスでよいことと悪いことがたくさんありました。よかったことは、昨年優勝できなかった4つの大会で優勝できたことです。よくなかったことは、6月に足を怪我したことです。それにより、大事な大会に出場できなくなったり、夏休みの前半の練習ができなくなったりしました。もうそんな無駄な時間を作らないように、体のメンテナンスを常に続けたり、フィジカルトレーニングをしたりして、インターハイや全日本大会で活躍できる選手になりたいです。

毎朝、「自分さがシート」に「自主的に係活動をする」や「休み時間にワークをする」など、小さな目標を立て、記入しました。また、タイマーを活用し、決まった時間に勉強を行うことを、日々の生活に取り入れていきました。これらのことから私は、当たり前のことをこつこつ続けられるようになりました。3学期への抱負は、日々の生活が流れ作業にならないよう、細かい目標を立て、毎日自己ベストを更新することです。

2025年は日々の積み重ねの大切さを改めて実感した1年でした。特に、勉強面では、少しづつの努力が成果に繋がることを感じました。しかし、その一方で、毎日継続することの難しさも実感したので、3学期はもっと計画的に勉強に取り組み、自分自身の成長に繋げていきたいです。